生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	当院におけるマイコプラズマ肺炎の臨床的検討		
1.研究の目的と方法	2024年は全国的にマイコプラズマ肺炎の流行が確認されました。マイコプラズマ肺炎の治療にはマクロライド系抗菌薬をまず使うことが一般的ですが、マクロライド系抗菌薬が効かないマクロライド耐性が近年アジアを中心に増加しています。同年の大阪での検討ではマクロライド耐性が60.2%に増加したと報告されています。全国的なマクロライド耐性の流行が懸念され、本研究ではマクロライド耐性マイコプラズマ肺炎の症状・状態に関してカルテの情報を収集し、評価・検討を行うことを目的としています。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027年6月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	2024年1月～2026年3月の27ヶ月間に東京慈恵会医科大学西部医療センターにおいて、Quenching probe法を原理とした全自動遺伝子解析装置Smart Gene®（ミズホメディー社）で陽性と検出されてマイコプラズマ肺炎と診断された18歳以上の患者さんです。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診療行為に関連するデータ（性別、診断時年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、喫煙歴、既往歴、前治療歴、治療効果、治療薬、症状）	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　内科学講座呼吸器内科
		氏名	廣見晃子
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026 年 2 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　内科学講座呼吸器内科 研究責任者：助教　廣見　晃子（ひろみ　あきこ） 電話番号：西部医療センター　03-3480-1151（内線 3349） 対応時間：平日 9：00　～　17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。